

障害者福祉システム等標準化検討会 個別検討WT（第1回）議事概要

日時：令和6年5月31日（金）10:05～11:30

場所：日本コンピューター株式会社 東京本社セミナールームA・B 及び WEB会議

出欠（敬称略）：

（構成員）

出席	生田 正幸	関西学院大学大学院 人間福祉研究科 講師（非常勤）
欠席	後藤 省二	株式会社地域情報化研究所 代表取締役社長
出席	内川 貴義	東京都福祉局障害者施策推進部地域生活支援課 課長代理
出席	森 健太郎	東京都福祉局障害者施策推進部施設サービス支援課 課長代理
出席	嶋 亜希子	大阪府福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課 総括主査
出席	倉知 利光	大阪府こころの健康総合センター総務課 総括主査
出席	大山 大輝	船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課 主事
出席	中野 龍	船橋市健康福祉局福祉サービス部障害福祉課 主事
出席	下田 佳奈	葛飾区福祉部障害福祉課 主事
出席	小谷中 俊作	葛飾区福祉部障害福祉課 主事
出席	米山 のぞみ	横浜市健康福祉局障害福祉保健部障害施策推進課 係長
欠席	吉田 裕光	横浜市健康福祉局こころの健康相談センター 係長
出席	小藤 侑奈	坂井市健康福祉部社会福祉課 主事
出席	小島 有美子	坂井市健康福祉部社会福祉課 主査
出席	武藤 優子	忠岡町健康福祉部福祉課 課長
出席	植木 寿洋	河南町健康福祉部高齢障がい福祉課
出席	三浦 裕和	株式会社RKKCS 企画開発本部 副本部長
出席	井上 和彦	Gcomホールディングス株式会社 導入管理部 第2導入管理課長
出席	星島 基宏	株式会社TKC ユーザ・インターフェイス設計部 チーフ
出席	関 和可奈	株式会社電算 ソリューション3部 主幹
出席	佐藤 亮介	株式会社アイネス 開発本部 WR開発部長
代理	長井 陽菜	株式会社IJC システム事業本部 情報システム部 パッケージシステム課 係長
出席	近藤 誠	日本電気株式会社 社会公共ソリューション開発部門 主任
出席	福田 佳孝	富士通Japan株式会社 Public&Education事業本部 社会保障サービス事業部 シニアマネージャー

（オブザーバー）

欠席	千葉 大右	デジタル庁地方業務標準化 エキスパート
欠席	池端 桃子	デジタル庁地方業務標準化 エキスパート
欠席	米田 圭吾	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
欠席	津田 直彦	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
欠席	山田 貫才	デジタル庁統括官付参事官付
欠席	丸尾 豊	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 課長補佐

欠席	小山内 崇矩	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室	課長補佐
出席	飯野 一浩	厚生労働省大臣官房情報化担当参事官室	室長補佐
欠席	島添 悟亨	厚生労働省保険局診療報酬改定DX推進室	室長
		大臣官房情報化担当参事官室	室長補佐 併任
		保険局保険課	課長補佐 併任
		社会・援護局障害保健福祉部	アドバイザー
出席	青木 健一	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課	課長補佐
出席	高屋 史紘	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課	主査
出席	澤田 晶	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課	係員

【議事次第】

1. 開会
2. 健康保険証の記号、番号、枝番の区分について
3. その他

【議事概要】

○坂井市構成員

- ・資料2の11ページのNo5の「資格確認書」における、医療保険資格確認についての意見。「資格確認書」の更新は可能であると聞いているが、保険者ごとに5年を超えない程度の期間と伺っている。そのため、今後、資格確認書の廃止以降の医療保険資格確認についてもあわせて検討が必要ではないか。
- ⇒（事務局）「資格確認書」の5年後の取り扱いについては、この場では不明であるため持ち帰り確認する。

○坂井市構成員

- ・医療保険資格確認のために情報提供ネットワークを利用した場合、一部の健康保険組合で記号番号枝番が区別できない場合があるとのことであるが、仮に自治体が一項目で管理したとして医療機関側の事務に影響がないのか確認が必要ではないか。
- ⇒（事務局）医療機関にはオンライン資格確認端末が原則1台用意されている。そこではマイナンバーカードを読み取って医療保険資格確認を行う。マイナ保険証を持っていない方は医療保険者からの資格確認書等の記号、番号、枝番を入力し医療保険資格確認を行うこととなるため、障害者福祉システムの記号番号枝番を一項目にまとめても影響はないと思われる。ただし、その他にも医療機関の事務として影響がないかは保険局データ企画課のオンライン資格確認担当へ確認する。

○坂井市構成員

- ・自立支援医療等では申請者に、申請書へ保険証情報を記載してもらい医療保険資格確認を行っているが、今後、情報提供ネットワークを用いた情報照会をかける場合、即時に結果が受信できるわけではないため、例えば、これまでは窓口で確認できていたものが、今後は申請書を受け取りバックヤードで確認し、不備等あれば電話連絡が必要となるなど業務フローが変更になると思われる。
- ⇒（事務局）情報提供ネットワークを使用した場合、タイムラグにより窓口確認が出来なくなるかと

のことであるが、タイムラグが発生するかはベンダの実装方法やシステム構成に依存し、soap連携で実装・構築されているのであればほぼタイムラグ無く窓口対応が可能となり、XMLデータ連携の場合はタイムラグが発生すると認識している。

⇒（富士通Japan構成員）標準準拠システムおよび団体内宛名システムの双方で即時連携の機能が実装されており、照会先の機関が資格情報を正しく登録していれば、即時で結果を確認できると認識している。

⇒（アイネス構成員）富士通Japan構成員と同様に、システムがsoap連携に対応していれば、比較的タイムラグもなく結果を確認することができるかと認識しているが、照会先の機関で対象者のデータの登録状態によっては結果が返ってこない、またはエラーとなるケースもあるため、全てのデータに対して即時で確認できるわけではないと認識している。

⇒（事務局）富士通Japan構成員、アイネス構成員よりいただいた対象データの登録状況によってエラーとなることもあるが、一方で現時点では照会してもレスポンスが返ってこないまたは遅いなど、中間サーバーの処理能力に課題があると伺っている。この課題については、今後、処理性能を向上させる予定と伺っており、令和8年4月には解決すると思われる。また、保険証の廃止に伴う事務への影響については、障害者福祉施策のみならず他の医療費助成制度等も含めて国全体で検討がなされるものと事務局は考えているが、持ち帰り確認する。

⇒（TKC構成員）DV等により自動応答不可の設定している対象者についても、結果が返ってこないと認識しているが、その場合の運用も検討すべきではないか。

⇒（事務局）TKC構成員の意見のとおりであるが、自動応答不可の設定がされている対象者の取り扱いも含めて、障害者福祉施策のみならず全体として検討がされるべきものと理解しているが、持ち帰り確認する。

⇒（RKKCS構成員）情報照会の運用面については議論されている内容で理解している。一方でシステムの機能としては、情報照会元、照会先が相互連携をリアルタイムで実施し情報収集することが目的だと認識しており、現行システムにおいても、標準準拠システムにおいても対応すべき機能と考えている。

○船橋市構成員

・障害福祉サービスの療養介護について、保険証とあわせて限度額適用認定証も提出していただいている。こちらもいずれはマイナ保険証で確認できるようになるのか。

⇒（厚労省障害福祉課）現時点ではしばらく限度額適用認定証は紙での運用が続くと聞いているが、障害福祉課で持帰りとさせていただきたい。

○横浜市構成員

・自立支援医療においては、情報提供ネットワークを使って保険証の情報を照会したことがあるが、その際、被保険者の氏名が表示されないことがわかった。被保険者が誰かを特定するため、被保険者の氏名を表示できるように対応をお願いしたい。

⇒（事務局）現時点ではデータ標準レイアウトに項目が無く、また被保険者が本人と異なる場合も想定すると、令和6年12月の保険証廃止に間に合わせるのは困難であると考えられるが、令和8年4月の標準化に向けては持ち帰り確認する。

○RKKCS構成員

- ・記号、番号、枝番の項目を1つにまとめる件についてはシステムの的に問題ない。ただし、精神通院医療については県へ進達しており、電子ファイルで実施している場合は項目が変わるためレイアウトの調整が必要となる。

⇒（事務局）都道府県との連携については都道府県側とも調整し改修をいただくことになる。

○TKC構成員

- ・レセプト情報の取込み時に受給者の情報とマッチングさせる必要があるため、記号、番号、枝番の項目を3つに分けたほうがマッチングしやすいのではないか。

⇒（事務局）レセプトデータと受給者情報のマッチングは受給者番号で可能と認識しているが相違ないか。

⇒（TKC構成員）受給者番号でのマッチングということで承知した。

○横浜市構成員

- ・標準仕様書上、記号、番号、枝番の項目を1つにまとめることとなった場合、保険証の廃止は令和6年12月から開始であるため、現行システムにおいても記号、番号、枝番の項目を1つにまとめる必要があるのか。

⇒（事務局）現行システムの対応については事務局から回答しかねるため、持ち帰り確認するが、現行システムにおいては必ずしも一つにまとめる改修をする必要はないと思われる。

以 上